



みんなの学校応援団の活動を紹介<その8>

更小4年・「福祉」の体験的学習



9月1日
(月)に、保健福祉課・保健師の藤田さんと社会福祉士の佐々木さん、社会福祉協議会・小丹

枝さんの3名に来校していただき、認知症サポーター養成講座を開きました。認知症の人に対してどんな対応をすればよいのかは、3名の方に、寸劇「眼鏡はどこに行った!？」を演じて見せてもらう中で、具体的に教えてもらいました。子どもたちは、目の前で体験的な事例を見ることによって、自分ごととして考えることができたのではないかと思います。

9月5日(金)には、社会福祉協議会・小丹枝さん、中野さん、庄司さんの3名と保健福祉課・保健師の藤田さんと社会福祉士の佐々木さんに来校していただき「車イス」を体験する「福祉の授業」をしていただきました。車イスに乗っている方の介助をする時の、声かけの仕方や車の押し方等について、実際に事例を見せていただきながら学ぶことができました。その後、子どもたちは、自らが車イスに乗って動いたり、車イスでのポッチャ競技を体験したりする中で、福祉への理解を深めていきました。



小4で浄化センター見学

上更別小学校4年生が、9月9日(火)に、社会科の見学学習で更別浄化センターを訪れました。前半は、役場の矢野さんから、更別村の下水処理の歴史や、どのようにして下水をきれいに処理していくのかを、施設の機械を紹介してもらいながら、教えていただきました。後半は、水質を管理している更別企業の森田さんから、下水の汚れをきれいにしてくれる微生物を、電子顕微鏡で拡大して見せてもらいました。



上更小

更別小学校4年生は、9月30日(火)に浄化センターの見学をしました。上更別小学校と同じ内容で行い、両校の子どもたちは、



更小

浄化センターが自分たちの生活にとって欠かせない所であることを実感していました。

小3が合同でJAさらべつ見学

9月8日(月)、更別小学校と上更別小学校の3年生が合同で、JAさらべつの農協倉庫等を見学をしました。見学を担当していただいたのは農産部長の梶浦さんで、ジャガイモを選別するベルトコンベアーや肥料を作る工場・貯蔵タンク等の説明をしていただきました。会議室では、子どもたちの質問にも答えていただき、子どもたちは更別村の農業への関心を高めていました。

